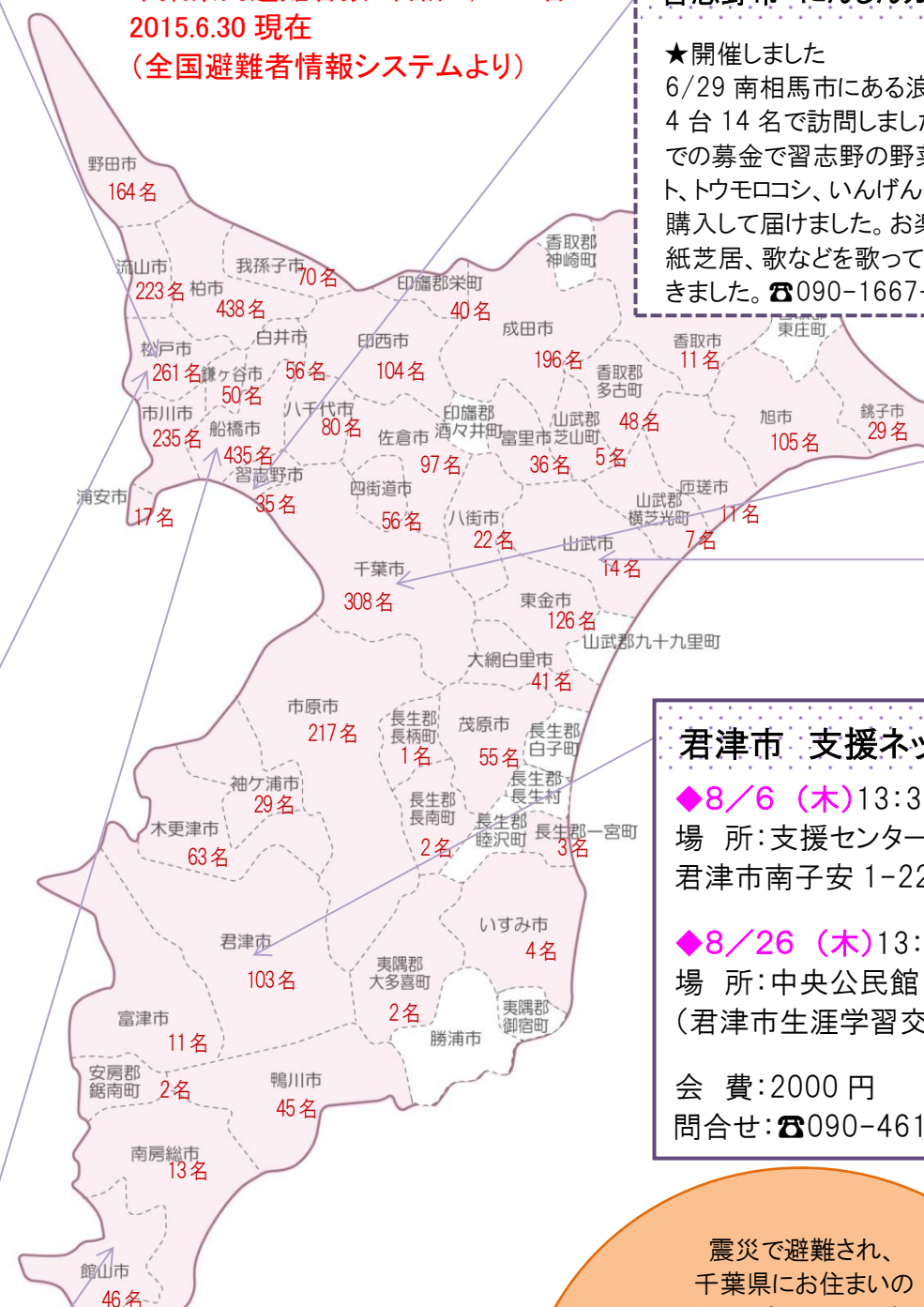


いつもここでお待ちしております。8月の情報

千葉県内避難者数 合計3,916名
2015.6.30 現在
(全国避難者情報システムより)



松戸市 松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」
毎週火・水・木曜日 10:00～16:00 サロンオープン
◆8/4(火)歌の日
◆8/11(火)相談デー(就職・税金・介護・原発補償他なんでも)
◆8/12、26(水)13:30～初めてに囲碁教室
◆8/18(火)13:30～手芸の日(はぎれを使った小物づくり)
◆8/19(水)アロマの日(未定です。サロンにお問合せ下さい)
◆8/25(火)ママカフェ 14:00～15:30 サロンセミナー
～放射能から子どもを守る～
蔵のギャラリー・結花スタッフ:増田かおるさん
◆8/27(木)広域避難者交流の日
～語り合おう私たちのこれから～
※開催時刻の記入のある講座は、遅刻しないようにお願いします。
サロン住所:松戸市松戸 1834-5 小川ビル 2階
問合せ:☎047-710-5519 黄色いハンカチ
(サロンオープン時のみ)

松戸市 「ともにいきる会」
◆8/20(木) 10:00～ 販売会
場所:五香駅(新京成線) 前西口駅前通り 珈琲館前にて
販売品:手作りポーチ、帽子、ビーズ小物、他
◆8/21(金) 13:30～ 小物づくり(手作り革細工教室)
場所:松戸市民劇場(松戸市本町 11-6)
問合せ:☎090-8785-1318「ともにいきる会」(森川)

船橋市 船橋災害ボランティアネットワーク
◆8/22(土) 12:00～14:00 夕涼み会
場所:船橋中央公民館 体育レクリエーション室
船橋市本町 2-2-5(市民文化ホール)
☎047-434-5551
会費:無料
内容:大人や子どもも参加して、ゲームやお話を楽しめる交流会です。軽食、お飲み物をご用意します。
申込み・問合せ:☎047-431-8808 船橋ボランティアセンター
主催:船橋災害ボランティアネットワーク
共催:船橋市社会福祉協議会

館山市 お茶会「たんぽぽ」
毎月第3水曜日 13:30～15:30
◆8/19(水)気楽な「お茶会」です
会場:菜の花ホール
住所:館山市北条 1735
参加費:100円(お茶代)
問合せ:館山市社会福祉課東日本大震災支援室☎0470-22-3213

習志野市 にんじんカフェ
★開催しました
6/29 南相馬市にある浪江町の仮設住宅に車4台14名で訪問しました。3/11 追悼イベントでの募金で習志野の野菜(人参、玉ねぎ、トマト、トウモロコシ、いんげん、習志野の水、他)を購入して届けました。お楽しみ会として、折り紙紙芝居、歌などを歌って交流し、喜んでいただきました。☎090-1667-5546(尾曾)

君津市 支援ネットワークきみつ
◆8/6(木)13:30～ 布ぞり教室
場所:支援センター
君津市南子安 1-22 職員住宅 106
◆8/26(木)13:00～ ケーキ教室
場所:中央公民館
(君津市生涯学習交流センター内)
会費:2000円
問合せ:☎090-4618-3413(齊藤)

千葉市 わかば「お茶っこ」しょう会
毎週月・金お茶っこカフェオープン
◆8/3、10、17、24、31(月)
◆8/7、21、28(金) (14日金曜日はお休み)
時間:10:00～16:00
避難されている方が美味しいコーヒーをいれてお待ちしております。
◆8/29(土)おたのしみ会 暑気払い
◆9月に東葛方面で「お出かけお茶っこ」を予定。
柏、流山方面にお住まいの方、ぜひご参加ください(詳細は次号)
問合せ:お茶っこカフェまで
☎080-6501-7113(月・金 10時～16時)
E-mail:ochako@outlook.jp

山武市 森のじかん
◆8/22(土)10:30～15:00
《夏祭り in あららぎ》
場所:さんぶの森交流センター あららぎ館
参加費:一人300円
内容:あららぎ館で開催される夏祭り(みんなの夏フェス)の会場内で、森のじかんを開催します。夏祭りは、出店やゲーム等楽しい催し物盛りだくさんです。
申込み:準備の都合上、事前にお申し込みをお願いします。(8月17日まで)
申込み・問合せ:森のじかんを実行する会
☎080-2221-9585(小久保)
E-mail: morinojikan@gmail.com

震災で避難され、千葉県にお住まいのみなさま専用の電話相談
「ほっとライン しゃくなげ・ちば」
毎月第1日曜日 13:00～17:00
043-376-3638
お暮らしでお困りのこと、ご家族のこと、お子様のこと、これからのこと、どんなことでもお気軽に
(社)千葉県臨床心理士会

心とからだの小ネタ 第五便
心とからだ
心身一如というけれど、いつも一緒に困りもの。疲れたときはとくにそう。心が疲れているときは、楽しく身体を動かして。身体が疲れているときは、楽しく思いをめぐらせる。ときには心と身体が別々のほうがいい。
千葉県臨床心理士会